

ユズのかいよう性虎斑症低減技術

「ユズ」は果実表皮にカンキツトリステザウイルス (CTV) の感染などによるかいよう性虎斑症が発生し、品質が低下します。

そこで、かいよう性虎斑症の発症が少なく、生産性の高い優良樹の選抜を行うとともに、発症低減技術の開発に取り組みました。

これまで、生産現場で長年にわたり虎斑症の少ない優良樹を選抜し、その7樹についてカラタチ台苗木を育成し、平成26年度に生産現場に定植しました。今後、果実品質の調査を行う予定です。また、既存樹の発症低減には、果実への袋かけが効果的であることがわかりました。



優良樹の果実 (左上：被害果実)



優良樹のカラタチ台苗木生産



優良苗の生産現場への定植



果実への袋かけ

果実への袋かけによる虎斑症低減効果

種類	調査 果数	1果重 (g)	品質 高0-低4	凸型 虎斑症数	凹型 虎斑症数
ネルネット黒	16	107.6	1.9 a	1.5 a	2.2
ネルネット白	16	112.6	2.1 a	2.8 ab	2.8
ネルネットピンク	18	112.1	2.0 a	2.4 ab	2.6
みかん用紙袋	17	105.1	2.6 ab	3.7 ab	2.4
無	18	108.2	3.1 b	4.8 b	3.5